

福祉施設に入居したくても、方法がわからないという人も多い。特別養護老人ホームで相談員（社会福祉士）の仕事をしている佐藤愛理さんは、そんな人達が接する最初の窓口だ。

「相談に来る方は、みなさん何かしら悩みをかかえているわけですが、それを解決するためにこんなこともできます、こんな方法もありますと、可能性を広げていく。人と人、人とサービスの橋渡しをする仕事です。こちらから向うくこともありますし、いろいろな調整をしたりと、介護を受ける方の基盤をつくります」。入居した後も、利用者から相談を受けることが多い。

## 人と人をつなぐ架け橋の仕事 家族のように支えたい。

「重度の認知症で名前などわからなかった方が、私の名前を覚えてくださったり、寝たきりだった人が、この施設に入ってから歩けるようになったり。そういう時が嬉しいですね。笑顔をいただけるのがいちばんの魅力かな」。

両親はともに医療福祉系の仕事をしている。「子供の頃から親の姿を見てカッコいいなと思っていました。誰かのために働くというのは素直にやりがいになります」。

佐藤さんにとって介護とは？

「家族のように支えること、それが介護だと思っています」。

### profile

名前 佐藤愛理 (25)

将来の夢

職種 生活相談員 (社会福祉士)

現場で働いて、いろいろな知識を身につけて、いずれは今はまだ提供できていない新しいサービスを開拓したい。

趣味 映画&犬と遊ぶ



2



3



4

#### 1 相談員は問題解決への第一歩

相談に来る家族は不安をかかえている方も。佐藤さんの優しい対応が嬉しい。「私達は地域の相談窓口なんです」

#### 2 入居者と散歩

仕事は家族からの相談に対応することが多いが、佐藤さんは入居者の人達とも積極的にふれ合うことにしている

#### 3 信頼関係を築いていくために

まずは相手の話をしっかり聞くことを何よりも大切にしている。それが信頼関係を築いてくれる

#### 4 たくさんの笑顔と感謝の言葉をいただけるのが魅力。

「相談して良かった」といわれた時に嬉しさがこみあげる。そんな時はいつも「この仕事をして良かった」と思う